

例会報告：2011年7月26日（曇） 第1713回通常例会

ニコニコ箱

久保田 知子 委員長

	7月26日分	累計	目標
ニコニコ箱	22,000	163,000	1,500,000

＊その他

小林泰二さん・・・

1.家内へ誕生祝いの花が届きました。河野さんから頂き家内は大喜びをしておりました。有り難う御座いました。
2.長らく欠席してすみません。クラブからお見舞いを頂き有り難う御座いました。

井上寛さん・・・小林さんの全快を祝して。

三宅常公さん・・・2人目の孫が7月22日に誕生しました。男の子です。母子ともに健康でほっとしました。

中村維孝さん・・・弊社開発の機能性素材がヨーロッパ3カ国の特許を取得できましたので少々。

小嶋章司さん・・・小林さんお帰りなさい。山田呉服店や杉崎製作所さんも心配していました。須賀俊和さん・タイ・チェンマイより帰国いたしました。お陰様で無事仕事が済みましたので。

35周年記念DVD出来上がる

昨年度震災で35周年の式典こそ開催できませんでしたが、石崎孝35周年実行委員長のもと担当する柳井さんらの努力で立派な創立35周年記念DVD「夢が未来を創る」が出来上がりました。8月になって会員に配布されますが、今から楽しみです。中村直前会長は、やっと出来上がったDVDを手に喜びの笑を浮かべていました。



◆◆◆ メーキャップ情報 ◆◆◆
- 2011年8月 -

- ・3日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
小田原城北RAC マロニエ201 19:45
「小田原城北R C・杉崎勝成会長卓話」
- ・4日(木) 小田原中 報徳会館(クF) 12:30
- ・5日(金) 湯河原 12:30
ニューウエルシティ湯河原
足柄 おんりーゆー(クF) 12:30
- ・8日(月) 小田原 報徳会館(クF/会員増強) 12:30
- ・9日(火) 箱根 富士屋H(G公式) 12:30
- ・10日(水) 小田原北 (納涼例会) M.U.受付無し
- ・11日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ・12日(金)～18日(木) 湯河原、足柄、小田原、箱根、小田原北、小田原中 特別休会 (定款に依る)
- ・19日(金) 湯河原 12:30
ニューウエルシティ湯河原
足柄 おんりーゆー(クF) 12:30
- ・22日(月) 小田原 報徳会館 12:30
- ・23日(火) 箱根 富士屋H 12:30
- ・24日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ・25日(木) 小田原中 (移動例会) M.U.受付無し
- ・26日(金) 湯河原 12:30
ニューウエルシティ湯河原
- ・27日(土) 足柄 (家族親睦納涼例会) M.U.受付無し



RAC
会員募集中
相応しい会員をご紹介します！

会員数：52名

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：<http://www.odawarajhrc.jp> Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会 編集長：金山慶昭 監修：井上 寛 コピーライター：大川 誠 デザイン：小林和彦 フィールド：須藤公司



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2011-2012
WEEKLY BULLETIN



REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

【R. I. 会長】
カルヤン・パネルジー
【R.I. 2780地区ガバナー】
森 洋
【第9グループガバナー補佐】
橋本 禎雄



【会 長】杉崎 勝成
【副会長】杉山 市好
【幹 事】辻村 彰秀
【副幹事】柳井 渉
【会場監督】村瀬 雅實

楽しく学ぼう、奉仕の為に



【今後の例会・卓話スケジュール】

- 8月9日 通常例会 (奉仕こころ) 12:30
担当：プログラム委員会
卓話：
NPO法人かものはしプロジェクト
サポーター事業部マネージャー (部長) 山元圭太 様
「子どもが売られない世界をつくる
～20代若者たちの挑戦～」
- 8月16日 休会
- 8月23日 通常例会 (RC) 12:30
担当：プログラム委員会
卓話：新会員3名
「イニシエーションスピーチ」
- 8月30日 通常例会 (RC) 12:30
担当：会員増強委員会
卓話：杉岡芳樹 様(2780地区会員増強会員維持委員長)
「会員増強フォーラム」

本日の例会：移動例会 (第1714回)

会場：ヒルトン小田原
日時：2011年8月2日 17:30～20:30
司会：柳井 渉 副幹事

17:30	開会点鐘：杉崎 勝成 会長 国歌斉唱 ローターソング斉唱 「奉仕の理想」 四つのテスト唱和 ビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 ニコニコ箱発表
17:50	閉会点鐘：杉崎 勝成 会長
18:00	宴会

ロータリー情報

会員増強及び拡大月間に因んで

ロータリーの目的の本質は、奉仕の理想の責任の受諾です。では、奉仕の理想とは何か？「どんな職業においても、利益は奉仕に対するご褒美として与えられたものでなければならぬ」というのがロータリーで言う奉仕の理想です。その奉仕の理想をいっそう高め世界中に拡げてゆくことが、私たち会員の目的であり務めでもあります。故に、奉仕の理想に賛同してくれる仲間を増やすこと、これが真の会員増強です。奉仕の理想の奉仕とは、献身的に社会のために尽くすということです。五大奉仕を円滑に実践していく為には、会員増強を推進しなければなりません。すべての組織は自然に任せておけば、会員は減少していきます。ロータリーも例外ではありません。増強の持つ意味は、

- (1) 新会員はクラブに斬新なアイデアや新しい関心事項をもたらし、クラブに活力を与える
 - (2) 知り合いが広がり奉仕の能力が増す
 - (3) ロータリー財団や米山奨学会へのプログラムへの参加者が増え、ロータリーの使命を推進することができる
 - (4) 新会員は将来の指導者の候補者となるばかりでなく、ロータリーの長期的存続を可能にする等です。
- 最後に一言。会員増強の王道は、現会員ひとりひとりが立派な職業人として社会の模範となることです。そのような実績と行動を世に示せば、ロータリアンは社会から尊敬されるようになり、その仲間に入りたいと思う人も増えるはずで、それが増強の理想の姿ではないでしょうか。

指導者育成委員会
(文責：河野秀雄)

例会報告：2011年7月26日（曇） 第1713回通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

7月26日例会会長あいさつ

杉崎 勝成 会長



先週は7月始まって以来の大型台風の襲来とのマスコミ報道がなされていましたが、この地方は大きな被害がなくて良かったと思います。近年災害が大きくなってきていると思います。その上、1000年に一度と言われた東日本大震災の地震、が起き大変な関心があります。人間と言う生物は地球と言う小さな天体の薄皮の上に存在しています。まだ地球内部の事も分かってい

ません、本日は杉原先生にその辺の事もお話頂けたら、幸いです。よろしくお祈りします。

さて、ロータリーの話させて頂きます。先週は第一標語について、話しましたが、本日は、第二標語について話します。1911年8月オレゴン州ポートランドの商業クラブ会議場に置いて第二回全米ロータリー・クラブ連合会の年次総会が開かれ、その場に置いて多くの役員からの寄せられたメッセージが読み上げられました。その中に、アーサー・フレデリック・シェルドン委員長が用意した『私の宣言』と言う表題の原稿が発表されました、参加者にきわめて強い印象を与えた為、大会議事として、演説の全文が印刷され配布された上、he profits Most who serves best (最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる) と言う言葉が、この大会で採択された「ロータリー宣言の」結語として採用されるに至りました。シェルドンの演説の一部を要約すると教育の目的は進取の気性を作りだす事によって、能力、信頼性、持続性、行動力を引き出して、人間の守備範囲を増やす事である。人生の成功は、心理的、道徳的、物質的な自然の法則の全てを調和させる活動こそ、最高の成功を意味する。人生において、絶対的な権限を持った宇宙の摂理と申しましょうか、自然界の法則を理解する事は民族の連帯の理解、すべての物の単一性、人間の兄弟愛の現実等、この第二標語 (mottos) が示すように、サービスをしたいと言う願望は、宇宙の摂理を認識できる人間のたどる道であり、利他の心を持って他人の幸せを願う事は、自らが幸せへの道を歩んでいる事である。と申しています。この論文が、のちの決議23-34の冒頭の表題を飾るわけです。本日は以上です。

❖ 幹事報告

辻村 彰秀 幹事

* 次回8月2日はヒルトンリゾートでの納涼例会となりますので、おまちがいないで出席願います。受付開始は17時より、例会開始は17時30分、懇親会開始は18時です。



* 定例理事会が納涼例会前の16時30分よりヒルトンリゾートにて行いますので、理事の方はご出席お願いいたします。
* 2011年8月のロータリーレートは1ドル80円と連絡がありました。
* 本年度は青少年交換学生の派遣はございませんが、地区より次年度の青少年交換学生募集のお知らせが来ております。募集期限は10月31日となっております。詳細については幹事までお問い合わせ下さい。なお例年通り各高校へはご案内を送付しております。

❖ 委員会報告

親睦活動委員会・・・木村 頼弘委員長

納涼例会が来週に迫ってまいりました。5時から受付で5時30分から例会ですので遅刻しないようお願い致します。また出席の期限が本日となっておりますので、出ていない方は帰りまでお願い致します。なお当日の服装ですがラフな格好で構いませんが、ジーパン、TシャツはNGということをお願い致します。

雑誌・広報委員会・・・石内 正彦委員長

ロータリーの友がポストに入っていたかと思いますが、左の方よりめくって頂きますと会員数について考えるということで、各地域の平均会員数が出ております。2780地区は平均33人です。続いて真ん中辺りにロータリー米山記念奨学金事業の基礎知識、ロータリーの基本知識が載っております。皆様どうぞご覧になってください。

会員増強委員会・・・大川 久弥委員

本日6時より新会員の歓迎会を行いますのでよろしくお祈り致します。なお会費の方は現地に徴収させていただきます。

ゴルフ同好会・・・梶持 悟委員

第1回ゴルフコンペを8月25日仙石ゴルフコースで行います。ぜひ参加の方よろしくお祈り致します。

❖ 出席報告

大木 清 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月26日	52(49)	39	3	85.71%
7月19日	52(49)	43	1	89.8%
7月12日	52(49)	39	4	87.76%

【欠席者】 10名

菊池義雄、西 寛、石崎 孝、所 真人、石橋 徹、須藤公司、本多純二、土岐博也、杉本博愛、白井 忠

【今回MU】

西 寛 (7/25小田原RC)、本多純二 (7/25財団セミナー)、石崎 徹 (7/25財団セミナー)

❖ 卓話

「小田原に影響を与える地震について」

神奈川県温泉地学研究所
次長兼管理課長
杉原 英和様



温泉地学研究所はもともと昭和36年に温泉の資源保護、そして開発という使命を帯びて県が設立した研究所です。その後箱根の群発地震とか噴

火の危惧があり現在、県西部地震とか箱根の火山活動の監視といった事も含め温泉地下水や地震火山などの研究をおこなっている機関です。

県内において体に感じない地震も含めると、箱根は活火山ですので箱根の周辺で火山性の地震が起こっております。山北、丹沢周辺ではプレートがぶつかっている場所ですので始終細かい地震が起こっております。厚木、伊勢原周辺ではプレートが潜り込んでいってある程度深さになると地震が活発に起こっている所があります。また横浜、川崎、町田辺りでも細かい地震が起こっている所があります。横須賀周辺に100キロ位深い所ですが、太平洋プレートが潜り込んでいって、フィリピン海プレートの下の所で起こっている地震があります。このように神奈川というのは始終動いているような所です。東日本大震災ですがどのような地震だったのかと振り返ってみたいと思いますが、全国で有感でした。最高の震度が7だったという所が栗原が所でした。1か所というのは自分としては小さいのかなと思いますが、震度6強の範囲がとて広くやはり大きかった地震と言えます。直下型地震ですと、大体10数秒しか揺れませんが今回の地震では3分近く揺れが続いておりました。地殻変動はどうなっていたかということ、東北地方は東に5メートル移動している事がわかりました。海域の方はもっとずれていて海上保安庁のデータでは20メートル以上東へずれている所もあります。また1メートル以上沈降している所は広くあります。その結果余震が非常に多く発生しております。一般的に余震というのは、その震源断層の周辺で起こるのを指しますが、今回は広範囲で大きめの地震が発生しております。



誘発地震ですが箱根でもおこりました。3月11日以降4月の頭までに1700～1800回位起こりました。今は定常状態で安全なのですが、その時にはびっくりしました。箱根は年に1回くらいは群発地震が起こります。このくらいの群発というのは珍しい事ではないので、心配する事はないのですが2001年にはこの約10倍の回数の群発地震が起こっており、そのように群発地震を起こしながら温泉の元を供給してくれている感じだと思っております。いずれにしても日本の約20位の活火山が同様の誘発地震を起こしました。今のところ噴火の兆候を示している火山はございませんが、チリ地震など火山が噴火している例がありますので、気をつけていかなければいけない部分ではあるのは確かだと思います。小田原の影響する地震にはどのようなものがあるのかということ、地球は10数枚の岩盤で出来ており、それが年間数センチ位ずつ動いています。その動きを解消するために地震が発生するのです。日本の周辺を見てみますと4枚のプレートが集まっております。プレート沿いの地震は分

かって頂けると思いますが、内陸の地震はなぜ起こるかということ、もともとプレートが動いているので日本列島は東西方向に圧縮されています。この圧縮による変形が地震の原因になります。その結果、内陸が変形を受けて歪が溜まってポンと地震が起こって活断層が出来るのです。日本全国には約2000本の活断層があり、神奈川県には約30本の活断層があります。関東地方の中では非常に多い方です。

小田原に影響を与える地震についてですが、東海地震、関東地震、県西部地震、神縄・国府津地震というものがあります。まず東海地震ですが、東海地震が発生しますと、神奈川県の西部が震度6弱になります。東海地震の30年の発生確率というのは87パーセントと言われております。東海地震というのは唯一地震予知情報が発表される事になっております。東海地震の津波ですが、伊豆半島を迂回して30分程で相模湾に入ってくる。やはり遠浅の鎌倉辺りが一番高くなります。真鶴、湯河原辺りも高くなりますが、小田原はあまり高くないようです。次に南関東地震（関東大震災の再来）ですが、これが起こると非常に大変な事になります。全県的に震度6弱～6強、7というものになり、非常に大きな被害が出てしまいます。ただし、発生確率は30年のうちで1パーセント未満です。次に神縄・国府津-松田断層ですが、1000数百年に1回ずつ動いており、3メートルの変異を生じております。こちらの30年発生確率は大体16パーセントです。これの被害は小田原よりも東の平塚とか厚木の方が大きい地震になります。とは言っても小田原でも大きな被害が出ると言われております。最後に県西部地震ですが、これは直下型地震のうちの一つですが、70数年に1回ずつ起こっていると言われており、いつ発生してもおかしくないとも言われておりますが、震源がはっきりしていません。小田原市内では5強～7の震度分布になっております。これらの県西部地域の地震について、我々は観測網を展開しております。地震では14点、GPS測量では8か所やっております。また箱根の火山についても年間2000万人の観光客が訪れるのですから、しっかりと監視をしております。そういった結果をホームページに表示しておりますので、是非ご参考にして頂ければと思います。

❖ 新会員オリエンテーション&歓迎会

7月26日は新会員にとって忙しい一日となった。例会終了後、新会員らは入会式でもらった「ロータリー情報マニユアル」を片手に談話室に集合し指導者育成委員会によるオリエンテーションが行われました。



杉崎会長の新会員に期待を込めたご挨拶のあと、井上委員長よりロータリーの成り立ちについての話から講義は始まった。ポール・ハリスや米山梅吉についての話は彼らに興味を抱かせたに違いない。途中、ロータリー大好き人間を自負するロータリー歴25年の河野さんより「職業奉仕を通じロータリアンでいられることに幸せを感じる」話や米山記念奨学金の制度で多くの留学生をお世話している話など新会員に意義ある話は続いていった。河野さんは部屋に飾ってある多くの奨学生との写真を持参し、新会員らはメモを取りながらその具体的な話に熱心に聞き入っていた。

そしてその夜18時より市内のライブハウスを貸切親会員の歓迎会が開催されました。別紙で両方の写真をお楽しみください。